

高校教育が大変

高槻市・茨木市、2学区の子どもたちが 大切にされていません！ **高南応援団**

大阪府教委は、教育改革や特色ある学校づくりを進めるという口実で昨年11月、教育改革でめざさなければならないような学校を廃校にするという決定を、16万人に及ぶ反対署名を無視して強行しました。廃校される学校は、文武両道でバランスのとれた癒し系の高校といわれ、地元で人気の高槻南高校。12月には廃校条例が府議会に提案されようとしています。父母も生徒も、行政を含めた高槻市民の大多数もこのような決定は「暴挙」と怒っています。

府教育委員会の決定 「貴重な存在」といいながら廃校決定

「(高南は)今の府立高校の象徴1つ・・・いろんな課題を抱えた府立高校の中で貴重な存在」
-「高校教育を良くするためにやる。異議ありませんか?」「異議なし」
・・・(11月16日、府教育委員会議での府教育委員の発言)

事前に一切の相談がなかったー奥本市長答弁

高槻南校をつくる時は、用地買収に際しても、朝な夕な、地権者との話し合いをし、また水路、道路との接続、墓地移転等、色々な問題で相当の努力をしてつくってきた。それを廃校にする時には、一切の相談もなく、やめるということはどういうことかと厳しく申し上げた。

来年度から普通科高校2校(高槻南・島上)が廃校になり、全日制単位制高校新校とって設立50年の老朽化した校舎を転用、来年春の開校なのに、改築・改修の予算案やその計画の具体化さえ公表されていません。大阪府教委の怠慢とこの地域に対する教育軽視は目に余ります。

東京と大阪の
この違い！

ー「老朽校舎転用」と

「校舎だけで65億円」のこの大きなギャップ

この地域の子どもたちがこんなに差別されています

高槻市の全日制単位制普通科高校 築50年の老朽校舎転用、改築・改修予算具体化せず

新校といいながら、築50年の老朽校舎を転用。来年春開校なのに、公約した改築・改修予算の計上と計画は今もって具体化・公表せず。普通科高校2校も潰して、名前だけの変更。府教委や管理職は、「いい学校にします」とは言うものの、口を開けば、新校準備も、新校の制服や校名決定云々の話し。これでも教育改革?!と、新校に淡い期待と幻想を持たせられた父母・生徒の失望は必至の現実。その一方で、建築後30年で行き届いた整備と美化がなされている高南の校舎・校地が、取り潰されて開発業者に売却というなら大問題です。

今春開校東京都立全日制単位制総合学科高校 65億円もかけて新築開校

都立つばさ総合高等学校は高槻市の設置予定の新校と同じ全日制単位制高校、羽田に設置。二つの高校を廃校、新しい高校にして今春4月開校。生徒は1学年定員240名。高槻新校と条件が同じ。2年足らずの準備期間も同じ。大阪との大きな違いは、校舎建築費用だけで何と65億円もかけて新築開校したこと。校地は、全天候の400mトラックを含む5万㎡という広大な敷地。高槻新校とのこの大きなギャップ! (上の図は、同校の全景です)

高槻市と高槻市議会は

高槻城本丸跡地の確保と歴史的城跡公園計画の具体化を！！

6月市議会で「意見書」の採択をしてください

高槻市当局は、12月市議会における答弁の中で「島上高校校地の高槻市による確保」と「新高校の高槻南高校校舎・校地使用」を求め、以下の見解を明らかにしています。この中で、大阪府教育委員会が、高槻市長の「高槻市百年の計」とも言うべき計画と申し入れを無視して、高槻市における府立高校統廃合計画を決定した事実が明らかにされました。

「高槻市『百年の計』実現は、今この時期でしか出来ない！」 安場信夫助役答弁
「本丸や蔵屋敷跡の島上高校校地を緑地空間として確保を」—中野昭三市長公室長答弁

「(両校の廃校はやむを得ないとしても・・・) 新設の高校の設置場所を、南高校の跡地で活用いただいて、島上高校の跡地は、先ほど申しましたように、高槻城の本丸の跡地で、歴史的に見ても代替のきかない土地でございます。市民グラウンド、プールを含めば、広大な面積、約5万平米でございます。この広大な面積を中心市街地の中で緑地空間として確保することは、高槻市の百年の計として、これは立派にいけるという判断をしておりました。ただ、学校がある限り、このことは実現は不能でございますので、両校の廃止というこの時期にその実現をしたいという熱い思いを、市長から教育長の方に申し入れをされました。しかしながら、結果として、その翌日でございます。大阪府の教育長が見えまして、今回の高槻市域における府立高校再編計画は、原案どおり進めさせ

ていただきます。城跡公園計画というものは、具体化した段階でお話に乗りましょう、こういう返事が参りました。そういう経過の中で(城郭公園計画の具体化は)進めております。」(安場助役)

「島上高校の地は、特に校舎のところでございますけれども、本丸跡地でございます。運動場につきましては蔵屋敷とか、そういったところ建っておったところでございます。現在、市民グラウンドがありますところが、二の丸跡地になってございます。さらに、一中を含め、その南にあります城跡公園は、三の丸跡地でございます。そういったことから、現在も、島上高校を取り巻く周辺地域につきましては、都市公園、城跡公園として整備をしてきておるところでございますし、今後、市民プールの移転等も含めて計画をしておるところでございます。」(中野昭三公室長)

高槻市議会議員からも—16万人の反対署名にんえて

与野党を問わず「高南廃校」に疑問と異議が続出しています

「地域ごとの具体的な実施案については、地域の実態に即し、客観的な具体的な物差しを示す中で決定すべきであると、今回の大阪府教育委員会の再編案については、多くの疑問を感じている」(与党議員)

「奥本市長の高槻南高校への熱い思いを聞かせていただき感銘した。議会人として南高校(問題)におけるバックアップをしたい。・・・歴史的経過から言えばむしろ島上高校が大冠高校に統合されるべきだった。今の島上分校が出来た時、いずれ生徒の関係で、島上が、分校の方に移るとい、そういう経過があった。(府教委の)あまりに地元を無視したやり方、地元の話は聞かないという姿勢は、これとんでもない話です」(与党議員)

「高槻南高校廃校絶対反対です。大阪府は財政上の問題で、この件に大きなメスを入れようとしていますが、府として、もっと先に取り組む課題が多くあります。何より問題なことは、本市の学力の低下につながります」(与党議員)

「廃校決定は事前に学校関係者や高槻市と一切協議もせず不当だ。教育不在で許せない」(野党議員)

**高南は健在！—今春、軟式野球部は府大会準優勝、PL 学園と共に近畿大会に
高槻南高校という学校は、こんな学校です、廃校にする学校ではありません—
高南生徒会長「あきらめへん！だって高南大好きやもん」**

軟式テニス部も近畿大会進出決定

高槻南高校は、大阪北部地域の2学区において中堅の学校として根強い人気を持っています。授業風景は、静寂な雰囲気を保ち展開され、文化・スポーツ活動は大変活発で熱気に満ち、生徒の参加意欲も高い学校だということは、学校関係者の等しく認めるところです。昨秋の軟式野球大阪府大会で夏の全国優勝チーム PL 学園を破り準優勝。今春も PL 学園と決勝戦をたたかい1点差の準優勝で近畿大会進出を決めています。軟式テニス部も同じく近畿大会出場を決めています。高南は廃校決定にも負けず健在です。高南のどの部も近畿・大阪トップレベルの実績と歴史をもち、スポーツ系では、公立においては群を抜いた存在です。豪州の州立トゥーンバ高校との交流活動に見られる国際交流も府立高校では先駆けて実施。文科系部活動の実績もスポーツ系に負けていません。建築後30年の校舎・校地は、行き届いた整備と美化がなされ、大変きれいで春や秋の学校自然環境は、感動的な美しさです。

.....
どうして、このような学校を廃校にするのでしょうか？大阪府教委と府教育委員の皆さんは本当に間違っています。
.....

生徒会会長からのメッセージ

もう廃校問題は終わったことなのか？って、もう一度自分に問いかけてください。あんな決定のされ方で納得している人はいないでしょう？現在でも、クラブ活動で大きな影響が起きていますし、自分達にとってプラスなことは、廃校決定以降何一つありません。では、今から何をすればいいのか？というと、生徒にとって、受験や日常の勉強などで難しい条件もあります。でも個人的にはいろいろ活動も出来ます。OB や OG、PTA の皆さんも色々して下さっています。また生徒全体として出来ることが一つあります。それは学校行事を盛り上げることです。今年は3学年そろっての最後の

学年になりそうです。去年の体育祭・文化祭の勢いに負けず、今年はそれ以上に盛り上げたいと思っています。

そして、廃校を決めた府教育委員や府教委を“こんなすごい学校を廃校にしたのか？”って、後悔させてやりましょう！！出来れば自分たちのため、地域の人のため。高南を作り上げた先生・OB・OGのため、PTAの方たちのため、道で署名してくれ、応援してくれた多くの人のため、タカナンを愛するすべての人のため、タカナンの伝統・歴史を守るため「We love 高南」の精神でがんばっていきたく思います。皆さん、応援してください。あきらめていません。

特設「高南応援団」ホームページ: <http://kokoins.hoops.ne.jp/>
高南応援団 E-mail: takanannet@yahoo.co.jp

高南応援団へのおさそい

高南応援団は、次のような活動をみなさんと一緒にすすめています。幅広い市民のみ
なさんの入会をお願いします。（郵便振替口座） 00910-4-177332 高南応援団 年会費千円
(問合せ先) 佐藤 0726-84-7545/井上 0726-94-4432/堀川 0726-75-5583/石塚 0726-36-0105

**「廃校決定は、間違
っています」 その経
過と問題の糾明を！**

高槻南高校を廃校にする決定は「不当で間違っています」という訴えを続けます。

*

このとりくみのためには、行政訴訟も視野に置き諸準備をすすめます。教育法や行政法の専門家グループと連携

*

生徒たちが「人権救済の申し立て」を大阪弁護士会に行うとりくみを物心両面から支援します

*

「異議申し立て」を却下した府教育委員会事務局と府教育委員に、公開質問状を出し、廃校決定理由と過程の不透明さを追及します。

街づくりに
高南の教育
環境を生か
すとりくみ

高槻市議会や高槻市当局に、高槻城本丸跡地確保など歴史的城跡公園計画の具体化を求める運動をすすめ、高槻市の計画を応援します。

高槻市の「街づくり」と連携し、新校の校地・校舎に施設・設備の充実した高槻南高校を！との各界の声に応えます。

高南校地の開発業者への売却に反対し、高槻市のよりよい教育関係施設として活用ができるよう取り組みます。高南校地の公共施設売却に絡む利権等についても監視していきます。

情報公開要求と行政監視、子ども本位の教育委員会制度への運動

廃校問題にとどまらず大阪府の教育委員の委員としての資質評価、職務遂行状況の監視や告発も行っていきます。

廃校される学校の当事者や高槻市当局と市民がまったく知らないままに決定された計画案を、一体、誰が、どのようにして決めたのか？を明らかにします。

廃校決定の真相を究明するプロジェクト・チームを発足させ、府教委とその背景となった不透明な部分を追及していきます。そのため行政文書の情報公開要求を行い、全ての経過を明らかにさせたいと思います。🌸

